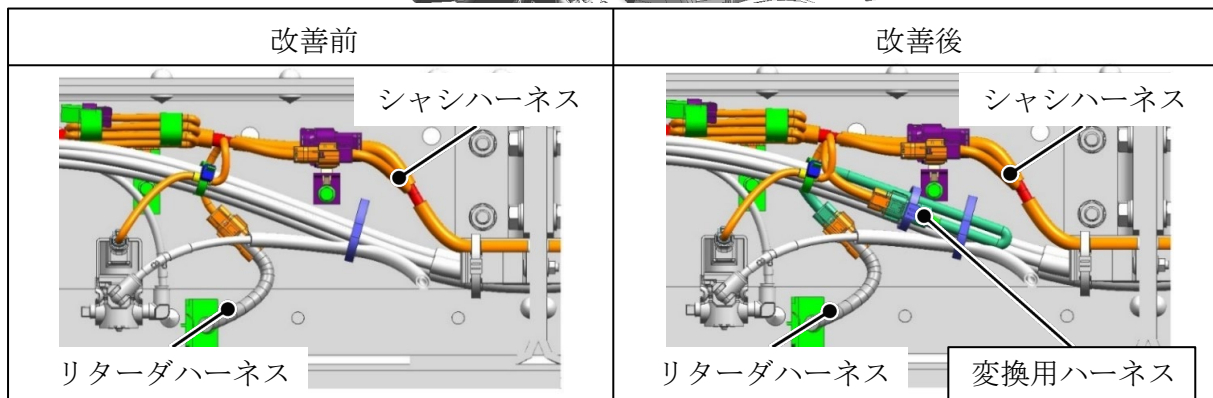
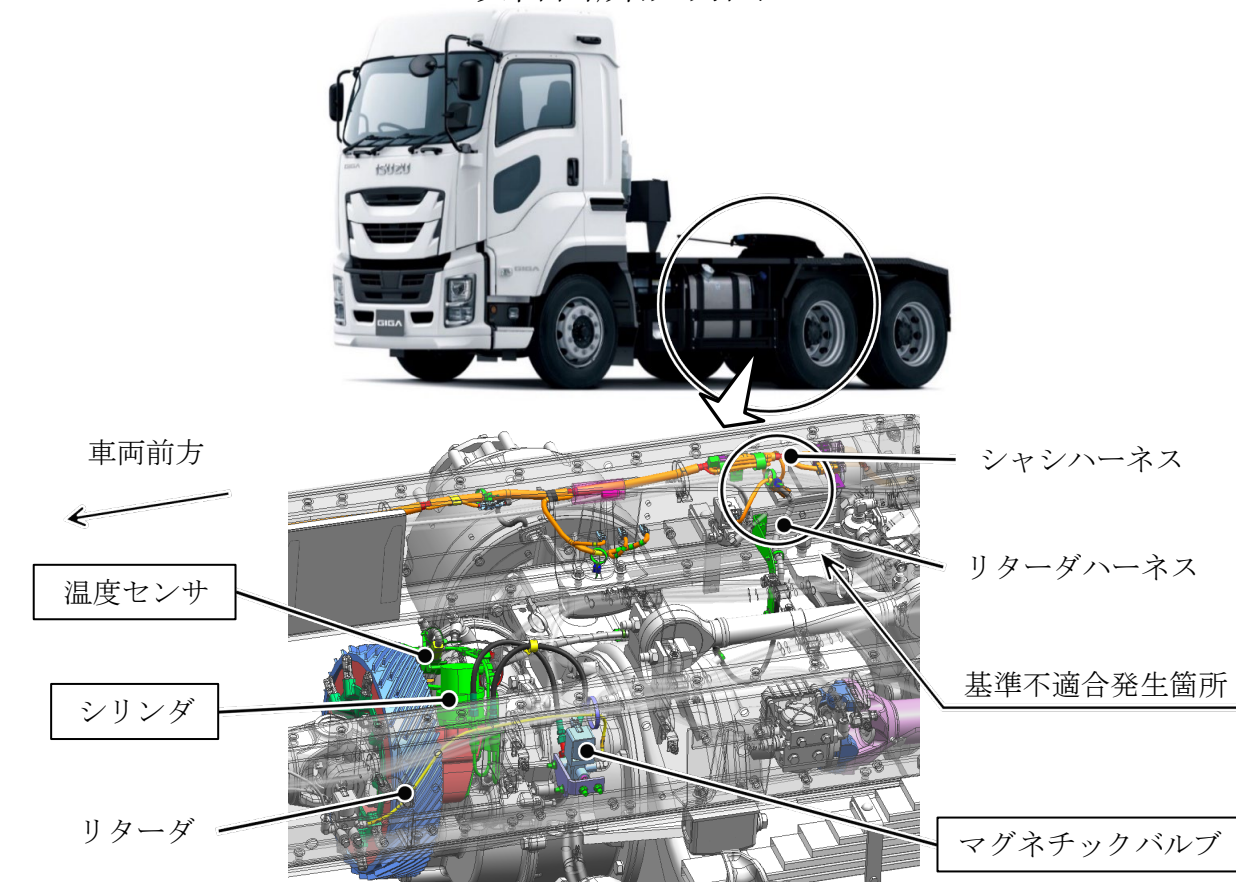


改善箇所説明図



リアアクスルに備えられたエア圧により作動する永久磁石式リターダ（補助ブレーキ）において、リターダハーネスへ接続するシャシハーネスのコネクタ端子の設計に誤りがあり不適切な端子配列になっているため、温度センサに過電流が流れ、内部回路が断線することがある。そのため、リターダの温度上昇に係る保護機能が作動せず、エア圧を保つシリンダ内部のゴム部品が損傷してしまうことでエア圧が保てなくなり、マグネチックバルブからエア漏れが発生し、そのまま使用を続けるとエア圧低下により警告灯が点灯するとともに警報が鳴り、最悪の場合、同一エアタンクのエア圧を用いるクラッチアシスト機能が停止することで変速ができず走行不能に至るおそれがある。

改善の内容；
全車両、シャシハーネスとリターダハーネスの間に適切な端子配列に修正するための変換用ハーネスを追加するとともに、温度センサを点検し、損傷が認められたものは温度センサを新品に交換する。また、エア漏れが認められた場合は、シリンダ、マグネチックバルブ等を新品に交換する。

識別：助手席側ドア開口部のシリアルナンバープレート左下に、識別シール（灰色）を貼付する。

注：□ は、措置する部品を示す。